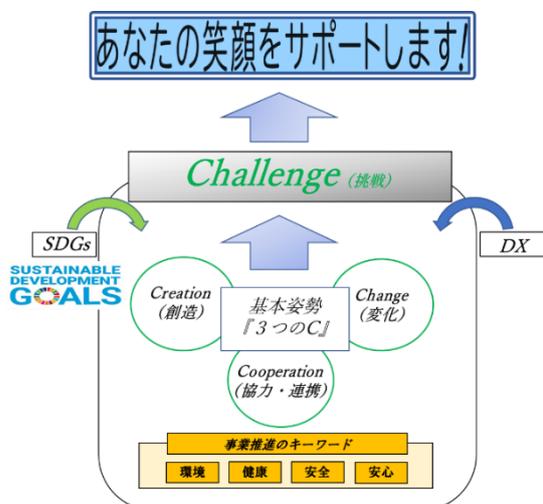


I 経営概況



令和3年度は、第2期「中・長期経営計画」（令和3年度～令和5年度）の初年度でありました。第1期に引き続き、3つのC（変化（Change）、創造（Creation）、連携（Cooperation））を念頭に置きながら業務を推進するとともに、SDGsやデジタルトランスフォーメーション（DX）への取り組みも加えながら、受託事業の開拓や自主事業の実施、新しい提案などに挑戦（Challenge）してまいりました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が年度内に終息することがなかったため、大規模なスポーツ大会や県外からの参加者を含む競技大会、その他各種イベントなどは中止や無観客による開催を余儀なくされる状況が続きました。結果として、各施設の利用者数は令和2年度に比べ若干回復したものの減少傾向が続き、公社管理施設では新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら、「ウィズコロナ」を意識しつつ、施設の利用促進や新たな事業の実施に取り組んだ1年間となりました。

1 公社指定管理施設の指定管理業務

県立武道館を除く、公社が管理運営を担う8施設（5事務所）については、全施設が令和3年度から5年間の新たな指定管理運営を開始いたしました。

しかし、吊り天井改修工事が完了した県立体育館では天井部材の落下が発生したため、7月より再度の閉場となりました。県立体育館で予定されていた大会やイベントは全て中止又は会場変更となりましたが、シニアトレーニング等の自主事業は公社が管理する県立武道館へ会場を変更して開催いたしました。

2 あきた芸術劇場ミルハス開館に向けた準備

あきた芸術劇場AAS共同事業体（公社（A）（代表）、秋田魁新報社（A）及びスペースプロジェクト（S））は令和2年9月に開館準備事務所を開設し、令和4年6月5日のあきた芸術劇場ミルハス開館に向けて鋭意準備を進めてまいりました。

3社での運営会議を通じてさまざまな課題を調整しながら、利用希望団体に対して予約説明会を開催し、先行予約を開始しました。9月に予定されていた開館1年前カウントダウンイベントは新型コロナウイルス感染症の拡大を考慮し中止となりましたが、後日オ



ンラインでの配信を実施しました。秋田県民会館写真展、ツリーアートプロジェクトや現場見学会（令和4年4月9日～10日に延期）なども企画し、実施いたしました。更に、県内の芸術文化の育成と会館に向けた気運醸成を目的とした県民・市民参加型ミュージカルへは予定人数を大きく超える応募者が集まり、昨年12月から54名が本番に向けて練習を重ねています。

（あきた芸術劇場ミルハス） 令和4年3月17日には秋田県・秋田市より本体工事完了後の引き渡しを受け、開館に向けた直前の準備を急ピッチで進めております。

3 人材育成に向けた研修計画の策定

公社が自立的経営を実現するためには人材育成が必要不可欠です。これまで、秋田県自治研修所主催の研修への派遣、外部講師を迎えての各種社内研修などを実施してきましたが、人材育成を目的とした体系的な研修計画が策定されていませんでした。

そこで、各事務所から「どのような研修が必要か」についてヒアリングし、外部企業による組織診断結果を加味した上で、公社の求める人材像を実現するために必要な研修の種類と対象となる社員層を整理し、従来の次世代リーダー研修も取り込んだ、3年間の体系的な人材育成研修計画を策定し、令和4年度から開始することといたしました。

4 新型コロナウイルス感染症の影響と対応

令和元年度末から拡大した新型コロナウイルス感染症は感染の波を繰り返しながら継続し、終息の兆しは現在でも見えません。令和3年度は、公社の管理施設では多くの大会やイベントが中止又は制限された人数での開催となり、施設利用人数は目標の73.5%にとどまりました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症への対応が全くの手探りであった令和2年度に比較して、令和3年度は各施設で徹底した感染防止対策を実施しながら感染状況に応じた適切な施設運営に努めることができたため、利用人数や事業収入は、目標には達しませんでした。前年度を上回ることができました。

	令和2年度	令和3年度	差異
利用人数：対目標達成率	59.9%	73.5%	+14.0ポイント
利用料金：対目標達成率	77.2%	88.5%	+11.3ポイント

5 SDGs目標の設定と取組み

公社は、スポーツ・文化及び環境保全施設の運営管理と自主事業等の展開による経営を通じて「持続可能な開発目標（SDGs）」の達成を目指し、9つの目標を設定しSDGsへの取組みを開始しました。「健康を提供するための施設利用の促進」、「有害物質の適切な処理」、「女性が活躍できる職場づくり」の3項目については秋田県に申請し、10月には秋田県SDGsパートナーに登録されました。

各事務所でSDGs目標を掲示する、全社員にSDGsバッジを配布し、幹部社員向けに秋田県SDGs協会による講演会を開催するなどして、機会を捉えて社員への意識啓発に努めました。



(秋田県SDGs登録マーク)

6 健康経営への取組み



多様な働き方により能力を発揮できる職場環境の整備を目指し、育児休暇・介護休暇等の利用や女性の役付け職員への登用など女性が活躍できる職場づくりを進めたほか、健康経営宣言に基づいた経営に努め、令和4年3月に「健康経営優良法人2022」の認定を受けました。

また、福利厚生事業としてインフルエンザワクチン接種にかかる助成額の引上げや有給休暇取得を積極的に奨励するなどして、社員のワークライフバランスの向上に努めました。

II 重点戦略に対する取組み

1 施設管理・利用促進に向けた管理業務のレベルアップ

(1) 施設の安全管理とサービス向上

- ① 利用者の安全確保や危機管理体制の確立が重要であり、設備の定期点検に加え、緊急時に備えた防災訓練や、不測の事態に備えて社員に普通救命講習1・上級救命講習を積極的に受講させ、危機管理対応のスキルアップに努めました。
- ② 各指定管理施設でアンケート調査を実施し、1,065件を回収しました。利用者や団体等から寄せられた意見・要望について経営幹部会議で検討を行い、必要な事項については管理運営に反映させながら改善に努めました。顧客満足度は目標の80%を上回り、93.7%となりました。

(2) 施設の利用促進

スポーツ施設や公園施設では、通常の貸出利用に加えて、特色のある自主事業を行

うことで利用促進を図りましたが、令和3年度も令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、利用者数は目標の73.5%の75万人台となりました。

- ① 県立体育館では、令和2年度に吊り天井改修工事を行い、令和3年4月より利用再開していましたが、天井部材の落下が発生し、7月より再度閉場となりました。

そのため、「シニアトレーニング」（内容：筋力トレーニングなど）や「アクティブクラブ」（内容：幼児・小学校低学年のコーディネーショントレーニング）等については、県立武道館に会場を移した上で継続開催し、生涯スポーツを目的とした事業の普及振興に努めました。

- ② 県立武道館では、例年1月に県内各武道連盟と連携して「武道まつり」開催していましたが、今回初めて館外のイオンモール秋田で開催し、2,200名の方々に武道の魅力をアピールする機会とすることができました。



（武道まつり in イオンモール秋田）

- ③ 向浜スポーツゾーンでは、県立総合プールで夏休み期間中の水泳教室の開催、県立スケート場で「スケート初心者教室」

などの教室を開催したほか、「クリスマスフェスティバル」などのイベントを実施しました。

また、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、県立武道館との連携事業である「向浜こどもスタンプラリー」を開催しました。

- ④ 公社内に令和2年度から引き続き「ドローン活用検討プロジェクトチーム」及び「県立総合射撃場利用促進プロジェクトチーム」を設置し、令和3年度は新たに「SNS利活用促進プロジェクトチーム」を設置しました。

県立総合射撃場の来場者スタンプカードの作成や公社インスタグラム運用のためのルール整備を行いました。

- ⑤ 環境保全センターでは今後の管理運営に活かすため、令和4年1月に利用者アンケートを行ったところ、クレジット決済の要望などがあり、秋田県と協議することとしています。

（3）施設管理の効率的な運営・総合管理

- ① 施設管理部を中心に管理施設全体の省エネルギーを図るため、電力や燃料等のエネルギー使用量等に関してデータ分析し、一層の省エネを推進しました。

- ② 施設の安全確保と長寿命化に繋げるため、秋田県に対し中・長期的な修繕計画の提案を行うとともに、ドローンを活用した高所構築物点検により、目視では確認が難しい場所や施設全体の状況も把握した上で、適正な維持管理を実施しました。

なお、令和3年4月から12月まで行っていた県立中央公園の屋根付きグラウンド（スカイドーム）の膜屋根改修工事と人工芝の張替え工事が無事完了し、令和4年1月より利用再開となりました。



(照明塔修繕状況・ドローンで撮影)

2 自立的経営の推進

- ① 企画事業部を中心とし、新たな事業の創出や業務の開拓に向け、CNAアリーナ★あきた（秋田市立体育館）などの視察を行ったほか、他組織・団体などとの連携による自主事業を実施しました。

また、自主事業を実施するにあたり、事前に収支予算等の数値目標を設定した上で事業を実施し、終了後に「振り返りシート」を作成して成果や改善点を把握することにより、事業内容の充実に努めました。

- ② 県立体育館の天井部材落下の発生に伴い施設の老朽化が顕在化したため、県立体育館の新たな整備構想が検討され始めました。秋田県ではPPP/PFI手法による整備を想定していることから、公社は秋田県PPP/PFIプラットフォーム協議会へ参加し、県立体育館の建て替えに向けた情報収集を開始しました。
- ③ 令和3年度はあきた芸術劇場ミルハスの業務委託を受託し、令和4年6月5日の開館に向けた機運醸成に努めました。

また、循環器・脳脊髄センターの施設設備管理業務についても、引き続き令和4年度から令和6年度まで受託できました。大規模改修工事後の同センターの新たな機能を十分に把握した上で、施設・設備の安全確保と効率的な運用を徹底してまいります。

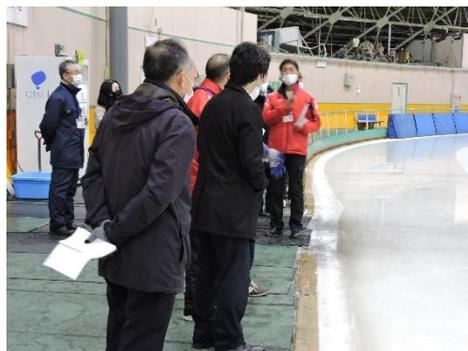
- ④ 施設管理業務や自主事業については、収益の確保を目指して、外部への委託の部分と公社社員で対応できる部分について、業務の見直しを行いました。具体的には、こまちスタジアムの芝管理業務の内製化や、公社内での自主事業の指導者育成に取り組みました。

3 企画力・実行力のある人材の計画的な育成と確保

- ① 公社が自立的経営を行っていくためには人材育成が必要不可欠であるという認識のもと、令和4年度から3年間の人材育成研修計画を策定しました。各事務所からのヒアリング等を参考にして、顧客対応研修やコンプライアンス研修を全社員必須とする、自己啓発としてのe-ラーニング研修を追加するなどして、顧客志向の人材や自ら考え行動できる人材の育成に努めていくこととしています。

- ② 令和3年度は4名の限定社員が総合職社員に登用され、6名が契約社員から無期転換限定社員となりました。法令・規則等の昇進時研修に加えて接遇研修などを行い、人材の確保と組織強化を図りました。
- ③ 若手の総合職社員11名を対象にオーダーメイド型の研修「次世代リーダー研修」を開催しました。これは継続型の研修で、令和元年度に行った社員の個人的属性診断（キャリア・ポテンシャル）結果を活用し、令和2年度は個人的属性を普段の仕事にどう生かしていくかを所属長と話し合い、令和3年度は令和元年度に実施した個人的属性診断を再度実施し、2年前との比較による能力開発進捗状況を確認しました。
- ④ 消防設備士などの公社の運営に必要な資格の取得・更新のため、延べ58名が「公的資格取得支援制度」を活用しました。また、施設管理運営にドローンを広く活用するため、新たに1名がドローン操縦資格を取得しました。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症により対面式研修が実施できなくなったため、研修のあり方を検討した結果、令和3年度はeラーニング研修をトライアルの位置づけで6名の社員に受講させました。

また、社員提案を具体的に制度化した事務所間交流研修として、公社が管理運営をしている県立スケート場を他事務所社員が見学し、施設の管理状況や業務内容について社員同士が意見交換する場を設けました。



（事務所間交流研修・県立スケート場）

- ⑥ 令和3年度は21件の社員提案があり、改善効果が期待される提案（SNSを使った自主事業の開催や社員によるホームページの改善等）については、令和4年度に実施することとしました。
- また、令和2年度の社員提案の内、内部文書の公印省略やQRコード付き名刺の作成など「実施」と判断された提案については、可能なものから実施しました。

4 業務効率化

- ① 昨今のIT化・デジタル化の進展に対応するべく、新たなグループウェアや勤怠管理システムを導入し、給与明細の電子交付化などを行いました。
- ② コロナ禍に対応した業務として、ウェブ会議用のノートパソコンやウェブカメラを整備し、それらを活用してリモートでの会議や講演会に参加しました。
- ③ 公社における公文書への押印について、令和2年度の社員提案に基づく検討に県の方針を加えて、「押印廃止するもの」「継続して押印するもの」に区分し、業務の簡略化に努めました。
- ④ DXへの取り組みとして、「秋田県DX推進ポータルサイト」への事業者登録

を行い、情報収集を行いました。

5 多様な働き方により能力を発揮できる職場環境の整備

- ① 健康経営宣言に基づいた経営に努めた結果、令和3年度に引き続き、令和4年3月に「健康経営優良法人2022」に認定されました。
- ② 障がい者雇用については、現在既に法定雇用率を満たしておりますが、引き続き雇用確保に努めることとしています。
- ③ 社員表彰制度を活用し、社員のモチベーション向上をはかるため、サービス向上やコスト削減を行った2事務所と1個人を社内表彰しました。
- ④ 女性の活躍推進に向けた数値目標を盛り込んだ行動計画に基づき、秋田市が主催するキャリアデザインセミナーに女性社員2名を参加させ、多様な働き方や女性が活躍できる職場環境の整備に努めました。

6 社会貢献事業等の実施

- ① 環境意識の啓発活動の一環として、4月19日・7月19日に「向浜スポーツゾーン地区クリーンアップ活動」を実施しました。7月は近接する秋田県総合食品研究センターと合同で実施し、防災設備業務を委託している秋田ノーミ（株）の社員の皆様にもボランティアとして参加協力をいただきました。



(7月19日 向浜スポーツゾーン地区クリーンアップ)

- ② 環境保全への取り組みを紹介し、環境意識向上に資するために、「あきたエコ&リサイクルフェスティバル」に参加申込みしましたが、コロナ禍の影響により開催そのものが、令和2年度に引き続き中止となりました。
- ③ 健康づくりを目指した取組みとして、令和3年度は県立武道館に会場を移し、「健康応援教室」を開催しました。
また、令和2年度まで開催していた「Akita Jam Festival」での経験を活かし、コロナ禍で失われたライブ体験の機会を取り戻すために文化庁が主催したイベントである「ジャパン・ライブエール・プロジェクト 秋田キャラバン」の来場者受付等業務を行いました。
- ④ 県立図書館から蔵書図書を借用し、施設利用者が気軽に本や活字に触れられる場を提供する、「県立図書館連携事業」を令和2年度に引き続き実施しました。

7 社員の処遇改善等

- ① 全社員を対象としているインフルエンザワクチン接種助成について、服務上の取り扱いを「職務免除」とすることや接種助成額の引き上げを行いました。

- ② 新型コロナウイルス感染症ワクチン接種についても、予防接種する場合や予防接種の副反応と認められる症状で療養が必要となる場合において、全社員の服務上の取り扱いを「職務免除」としました。

Ⅲ 定時評議員会及び理事会の開催

第1回理事会	令和3年5月27日
定時評議員会	令和3年6月14日
第1回臨時理事会	令和3年6月14日
第2回理事会	令和4年3月25日

Ⅳ 指定管理施設の利用実績

各施設の利用目標に対する実績は次のとおりです。

施設区分		R3 目標 (イ)	R3 実績 (ロ)	目標達成率 (ロ) / (イ)
環境保全	秋田県環境保全センター	42,000	57,284	136.4%
体 育	秋田県立体育館	83,300	10,589	12.7%
	秋田県立武道館	156,050	87,636	56.2%
	秋田県立総合射撃場（ライフル射撃場）	2,000	2,007	100.0%
	秋田県立総合射撃場（狩猟技術訓練施設）	800	517	64.6%
	秋田県立総合プール	137,500	98,967	72.0%
	秋田県立野球場	95,000	57,989	61.0%
	秋田県立向浜運動広場	27,700	22,942	82.8%
公園	秋田県立中央公園	70,000	44,576	63.7%
合計（体育・公園施設）		1,021,350	750,468	73.5%

※注：単位について、秋田県環境保全センターは産業廃棄物の処分量（トン）、その他施設は利用者数（人）

Ⅴ 事業の実施実績

（新型コロナウイルス感染症拡大等により中止した事業については「中止」と記載）

1 文化・スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

（1）文化普及事業

秋田県民会館の閉館後も秋田県立体育館や秋田県立武道館において、芸術文化に

親しむことにより人々の日常生活が豊かになるよう、鑑賞の機会や活動団体の交流の場を提供したほか、生涯学習に資する各種教室の開催等を行いました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
秋田県立体育館	【文化育成事業】 ・陶芸教室 ・シュガークラフト教室	7月17日 12人 1月19日 12人
秋田県立武道館	【文化育成事業】 ・夏休みクレイクラフト教室（写真①） ・バルーンアート教室	7月24日 18人 12月 5日 4人
	【伝統文化継承事業】 ・初心者和太鼓教室 5回 ・書道教室 6回 ・第14回武道まつり in イオンモール秋田	中止 9月～11月 54人 1月10日 2,200人
秋田県立中央公園	【文化育成事業】 ・ガーデニングを楽しむ（写真②）	7月・11月 30人



写真① 夏休みクレイクラフト教室



写真② ガーデニングを楽しむ

(2) スポーツ普及振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

スポーツ活動に対する県民ニーズに的確に対応し、施設の利用促進と気軽に楽しめる生涯スポーツやニュースポーツなどの普及・振興を図るため、次の事業を実施しました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
秋田県立中央公園	【レクリエーション事業】 ・夏休み思い出作り隊 （ネイチャーゲーム、キャンプファイヤー） ・中央公園冬まつり	8月 7日 28人 中止
秋田県立体育館	【スポーツ交流事業】 ・夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2021	中止

秋田県立体育館	【チャレンジデー協力事業】 ・ノルディックウォーキング体験会 ・かんたん体操 【スポーツ交流事業】 ・スポーツを楽しむ日 23回 ・3×3バスケットボール交流大会	中止 中止 4月～7月 1,360人 中止
秋田県立総合射撃場	【スポーツ教室事業】 ・ビームライフル・ピストル射撃教室 12回 ・ビームライフル・ピストル射撃大会 2回 ・岩城小学校ビーム射撃クラブ 8回 ・ビームライフル・ピストル出前教室 1回	4月～3月 53人 8月・1月 38人 5月～12月 80人 5月 553人
秋田県立総合プール	【スポーツ教室事業】 ・長崎宏子の「SWIM TO SMILE！」 ・親子 de レスキュー 【イベント等】 ・秋田県立総合プール施設探検ツアー	中止 7月3日 18人 中止
秋田県立野球場	【スポーツ交流事業】 ・第8回こまち杯争奪野球大会	中止
秋田県立スケート場	【イベント等】 ・クリスマスフェスティバル ・バレンタインイベント	12月19日 1,190人 中止

2 スポーツ振興事業（公益目的支出計画に基づく事業として実施）

秋田県立武道館において、各種武道教室や大会の開催、指導者の育成事業を開催するとともに、各武道団体の日ごろの修練の成果を発表する機会を設けるなど、武道の普及振興を図る、スポーツ振興事業として実施しました。

実施施設	内容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
秋田県立武道館	【スポーツ教室事業】 ・初心者柔道教室 6回 ・初心者合気道教室 5回 ・初心者少林寺拳法教室 ・初心者短剣道教室 ・通年剣道教室 33回 ・太極拳教室 10回 ・親子スポーツチャンバラ教室 12回 ・少林寺拳法で護身術体験教室	10月 6人 10月 35人 中止 中止 4月～3月 731人 6月～10月 113人 7月～1月 127人 中止

秋田県立武道館	・ベビーマッサージ教室&サイン教室	12回	7月～12月	214人
	・フラダンス教室	10回	6月～11月	83人
	・幼児教室	12回	6月～11月	212人
	・県立武道館施設体験ツアー		9月23日	25人

3 収益事業

(1) スポーツ等教室・イベント事業

施設の特徴を活かし、収益性を考慮した付加価値の高いスポーツ教室やイベント等を開催し、スポーツ人口の増加や健康づくりの機会を提供しました。

実施施設	内 容	開催時期（期間）及び 参加者数（延べ人数）	
秋田県立体育館	【スポーツ教室事業】		
	・シニアトレーニング	30回 (写真③)	4月～3月 916人
	・シニアエアロ	30回	4月～3月 614人
	・シニアヨガ	30回	4月～3月 254人
	・アクティブクラブ キッズ	10回	7月～3月 36人
	・アクティブクラブ ジュニア	10回	7月～3月 36人
	・シンプルエアロ	1回	7月 3人
	・ノルディックウォーキング	7回	4月～11月 69人
	・頭と体の健康トレーニング教室	12回	12月～3月 55人
・坐禅会	4回	4月～7月 46人	
秋田県立武道館	【スポーツ教室事業】		
	・健康応援教室	16回	4月～12月 1,163人
秋田県立総合プール	【スポーツ教室事業】		
	・ベビースイミング	8回	6月～9月 215人
	・キッズスイミング	30回	5月～3月 1,129人
	・ジュニアスイミング	30回	5月～3月 2,792人
	・おとなのためのスイミング	30回	5月～3月 486人
	・ワンポイントレッスン	毎月1～2回	5月～3月 86人
	・NCAボディコンディショニング	10回	4月～7月 31人
	・キッズサマースイミング	6回	7月～8月 111人
	・ジュニアサマースイミング	6回	7月～8月 183人
	・レッドシャークス		中止
	秋田県立スケート場	【スポーツ教室事業】	
・スケート初心者教室		3回 (写真④)	12月～2月 56人
	・キッズスケート教室	8回	11月～2月 98人

秋田県立スケート場	・ジュニアスケート教室	8回	11月～2月	223人
	・ステップアップスケート教室	8回	11月～2月	72人
	・放課後スケートクラブ	8回	11月～2月	91人
	・冬休みスケート教室	12回	12月～1月	211人
	・個人レッスン	4回	11月～2月	4人
秋田県立野球場	【スポーツ交流事業】			
	・県民開放事業	8回	6月～10月	370人
向浜運動広場	【スポーツ教室事業】			
	・向浜テニス教室	18回	5月～10月	274人
秋田県立中央公園	【スポーツ交流事業】			
	・中央公園ウォーク		中止	
	・女子ミニバスケットボール交流大会		7月・1月	19チーム
	・SKY-Dリーグ交流会(小学生サッカー)		1月4日	12チーム
		(写真⑤)		



写真③ シニアトレーニング



写真④ スケート初心者教室



写真⑤ SKY-Dリーグ交流会

(2) 商品販売及びサービス提供等に関する事業

施設利用者の利便性向上を図るため、次の事業を実施しました。

事業名	内容
ユーザーサービス事業	秋田県立循環器・脳脊髄センターにおける洗濯機等の設置
喫茶ホール	秋田県立スケート場における喫茶ホールの営業
自動販売機サービス事業	環境保全施設、体育施設、公園施設における自動販売機等の設置
にぎわい創出事業	綿あめ機・ポップコーンマシーンを活用し、自主事業時に販売

4 施設連携事業

各事務所が連携した多種多様なイベントを開催することにより、公社のPRと施設利用者の増加を図りました。

実施施設	内容
秋田県立総合プール、秋田県立向浜運動広場 秋田県立野球場、秋田県立武道館、 秋田県立総合射撃場	【イベント】 ・向浜こどもスタンプラリー（5月5日）553人
秋田県立野球場、秋田県立武道館 秋田県環境保全センター、秋田県立総合射撃場	【イベント】 ・れっつ公社！！ツアー（11月13日）14人

5 企業連携事業

企業や地域団体へ魅力ある企画を提供し、社会貢献、企業のイメージアップを図るため以下の事業を計画しましたが、会場の都合で中止となりました。

実施施設	内容
秋田県立体育館 (企画事業部) ・秋田ノーザンビネット・秋田ノーザンブレッツ	【スポーツ交流事業】 ・夏休み！キッズチャレンジスポーツ 2021 中止（再掲）

6 公園利用促進事業

秋田県立中央公園の利用機会の増加を図るため、緑豊かな自然環境を活かしたレクリエーションやスポーツ施設を利用した事業等を計画しましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部事業は中止としました。

また、フィールドアスレチックの一層の利用促進のため、ポイントカードを発行するなど、利用者サービスの向上を図りました。

実施施設	内容
秋田県立中央公園	【レクリエーション事業】 ・夏休み思い出作り隊（8月7日） 28人（再掲） ・中央公園冬まつり 中止（再掲）
	【ポイントサービス事業】 ・フィールドアスレチック利用者へのポイントカードの発行（ポイントカードにより3回目以降を無料とする） (4月～11月) 56人
	【キャンプ場犬同伴利用可能エリア設定】 ・4月～11月 32件

7 施設開放事業

どなたにも気軽に楽しく施設を利用していただくため、こどもの日やスポーツの日などの祝日やイベント開催時に、次のとおり施設の開放を行いました。

事業名	内 容	開催時期（期間）及び参加者数（延べ人数）
無料開放事業	【祝日や記念日等の無料開放】 （秋田県立武道館・秋田県立総合射撃場・秋田県立総合プール・秋田県立向浜運動広場・秋田県立中央公園） ・こどもの日 ・スポーツの日 ・県の記念日 【チャレンジデー協力事業】 （秋田県立体育館） ・ノルディックウォーキング体験会（再掲） ・かんたん体操（再掲） 【スケート場の開場日・閉場日等に合わせた無料開放】 ・オープンサービスデー ・クリスマスフェスティバル（再掲） ・ファイナルサービスデー	5月25日 1,916人 7月23日 197人 8月29日 22,482人 中止 中止 10月23日 352人 12月19日 1,190人 3月21日 510人
一般開放事業	【個人向け施設開放（有料）】 （秋田県立体育館） ・スポーツを楽しむ日 23回（再掲）	4月～7月 1,360人
団体開放事業	【団体向け施設開放（有料）】 （秋田県立野球場） ・県民開放日 8回（再掲）	6月～10月 370人

8 広報事業

広報誌の発行やウェブサイトの活用などを通じて、芸術文化やスポーツ、レクリエーション等に関する情報提供を行いました。

事業名	内 容
広報誌発行	指定管理施設の状況や主催事業等を幅広く紹介するとともに、各施設の利用促進とスポーツの普及振興を図るため、「みんなのスポーツ・カルチャー」（春・夏号と秋・冬号計11,000部）を発行し、小中学校をはじめ県内各地域に配布しました。

ウェブサイトの活用	<p>会社の公式ウェブサイトを通じ施設の予約状況(貸館空き情報)のほか、主催事業のお知らせや各施設へのアクセス等について、情報発信を行いました。※ウェブサイトへのアクセス実績 令和3年度 319,863件。</p> <p>また、サイト上のブログを活用し、主催事業開催の様子など写真を多用しながらわかりやすく紹介しました。※ブログへのアクセス実績 令和3年度 140,030件。</p> <p>さらに、「SNS利活用促進プロジェクトチーム」により、公社インスタグラムの運用に向けたルール整備を行いました。</p>
広報ツールの作成	<p>公社ロゴマーク入りバックパネルや公社が管理運営する施設紹介パネルスタンドを制作し、イベントの受付やウェブ会議の背景に設置して公社のPRに努めました。</p>
「週刊さきがけスポーツコラム」への寄稿	<p>「週刊さきがけスポーツ」の「県内スポーツだより」に5月～3月の月1～2回、公社が管理運営しているスポーツ施設運営の苦労話や裏話、自主事業の話題などを寄稿しました。</p>



(公社バックパネル)



(週刊さきがけスポーツコラム)

9 社会貢献事業

実施施設	内容
向浜スポーツゾーン	<p>【向浜スポーツゾーン地区クリーンアップ】(再掲) 4月19日、7月19日</p>
秋田県立中央公園	<p>【雄和椿川地区熊対策協議会による刈り払い】7月16日</p> <p>中央公園事務所、株式会社雄和振興公社、公立大学法人国際教養大学など雄和椿川地区にある7機関で組織している「雄和椿川地区熊対策協議会」で、熊対策のために秋田県動物愛護センター横の林の刈り払いを実施しました。</p> <p>また、中央公園事務所主催事業開催時に、協議会で作成したホイッスル付きライトペンやティッシュペーパーを参加者へ配布し、熊への注意喚起に努めました。</p>

環境保全事務所	<p>【第20回あきたエコ&リサイクルフェスティバル】(再掲) 中止</p> <p>【アクセス道路の市道・古種沢川のクリーンアップ】</p> <p>アクセス道路である市道のクリーンアップを月1回、処理水を放流する古種沢川の清掃を年1回実施し、周辺環境の保全に努めました。</p>
---------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

10 その他関連事業

実施施設	内 容
秋田県立武道館 (企画事業部)	<p>【ジャパン・ライブエール・プロジェクト 秋田キャラバン】</p> <p>12月26日 380人</p> <p>令和2年度まで開催していた「Akita Jam Festival」での経験を活かし、来場者受付業務等を行いました。</p>
秋田県立武道館 秋田県立総合プール 秋田県立中央公園 (企画事業部)	<p>【県立図書館連携事業】</p> <p>県立図書館所蔵図書を公社が借り受け、管理している3施設に図書コーナーを設置し、利用者が本や活字に触れられる場を提供しました。</p>

11 施設管理運営事業

秋田県等から公の施設の管理運営指定や業務委託を受け、効率的かつ効果的な施設運営と利用者サービスの向上に努めました。

(1) 指定管理者制度による施設の管理運営事業

区 分	施 設 名 称
環境保全施設	秋田県環境保全センター
体育施設	秋田県立体育館、秋田県立武道館、秋田県立総合射撃場、 秋田県立総合プール、秋田県立野球場、秋田県立向浜運動広場、 秋田県立スケート場
文化施設	あきた芸術劇場ミルハス(令和4年6月1日から指定管理開始予定) ※令和2年9月1日 あきた芸術劇場開館準備事務所開設
公園施設	秋田県立中央公園

(2) 施設設備管理業務等に関する業務受託事業

区 分	施 設 名 称
医療施設	秋田県立循環器・脳脊髄センター、秋田県総合保健センター
環境保全施設	能代産業廃棄物処理センター

1 2 秋田県出資法人等の連携に関する事業

秋田県出資法人等の社員・職員採用における公正・透明性確保を目的として、公募による共同採用試験を実施しました。

事業名	内 容
公募制共同採用試験	<p>○第1回共同採用試験</p> <p>実施内容 第1次試験（7月11日） 第2次試験（8月17日～19日）</p> <p>参加法人 4法人（関係出資法人等の総数20法人）</p> <p>採用予定 13名 第1次試験受験者 52名—倍率4.0倍— 最終合格者数 10名 最終倍率 5.2倍</p> <p>○第2回共同採用試験</p> <p>実施内容 第1次試験（10月17日） 第2次試験（11月9日～11日）</p> <p>参加法人 5法人（関係出資法人等の総数20法人）</p> <p>採用予定 20名 第1次試験受験者 70名—倍率3.5倍— 最終合格者数 17名 最終倍率 4.1倍</p>